

スマートホーム部会設立総会を開催

JEITA IoT事業推進部では、2017年9月21日、新たな専門部会として「スマートホーム部会」を発足させました。部長には、北陸先端科学技術大学院大学 教授の丹 康雄氏が就任しました。

スマートホーム市場創出をめざして

IoT事業推進部では、JEITAの重点事業である「CPS/IoT社会の実現」に向け、住宅・住設機器・家電・サービス等の住まいに関わるあらゆるものの連携により実現するスマートホームを推進するため、「スマートホーム部会」を設置しました。

当部会が対象にするスマートホームとは、子育て世代や高齢者、単身者など、様々なライフスタイルとニーズにあったサービスがIoTによって実現されている新しい暮らしです。未来の暮らしにおいては、ネットワークやビッグデータ、AI（人工知能）、センシングなどの先端技術と、進化したスマート家電やIT 機器が組み合わせられ様々なサービスが実現されると期待されています。

スマートホームを実現するには、電子・電機業界の枠を超え、住宅メーカーをはじめ“衣・食・住”に関連する様々な業界の連携が不可欠です。スマートホーム部会では、生活者の視点に立ち、様々なライフスタイルに合った「安心・安全、健康、快適、便利」な製品／サービスを創出するために、多様な業界の連携を促すことをめざし、住宅関連の11の業界団体関係者を客員に迎えました。

複数の事業者が連携するスマートホーム分野では、誤動作や製品事故に対し製造者とサービス事業者の責任分界点をどのように設けるか、プライバシーデータをどのように扱えば良いのかなど、個々に検討しなければならない論点も多数浮上しています。

消費者にとっても業界にとっても不利益にならない

ルールを整備する必要があります。その過程では、幅広い関連法と各監督省庁に意見提出しなければならないケースが増えてきます。迅速な意見提出や規制改革の後押し側面からも関連業界全体としての活動が重要です。

日本企業がスマートホーム市場でグローバルに展開していくために必要な支援ができるようスマートホーム部会は活動していきます。

スマートホーム部会構成

部会長

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学 教授 丹 康雄

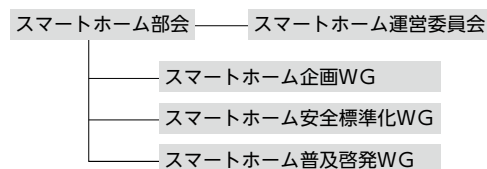
部会構成企業

NECパーソナルコンピュータ株式会社
株式会社JVCケンウッド
シャープ株式会社
ソニー株式会社
株式会社デンソー
東芝映像ソリューション株式会社
東芝クライアントソリューション株式会社
パイオニア株式会社
パナソニック株式会社
富士通株式会社
富士通クライアントコンピューティング株式会社
三菱電機株式会社

客員団体・企業

一般社団法人 住宅生産団体連合会
一般社団法人 不動産協会
一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会
一般社団法人 日本電機工業会
一般社団法人 日本照明工業会
一般社団法人 日本冷凍空調工業会
一般社団法人 電池工業会
一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会
一般社団法人 電動車両用電力供給システム協議会
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
株式会社LIXIL 他

スマートホーム部会組織





CEATEC JAPAN 2017「IoTタウン」において、スマートホーム関連製品を紹介

スマートホーム部会では、スマートホームを具体的にイメージしてもらうことをめざし、CEATEC JAPAN 2017の主催者特別企画展「IoTタウン」において、スマートホーム特別企画展を実施しました。

CEATEC初出展となる株式会社LIXILは、室内からエクステリア空間まで見守るホームネットワークシステムである「スマートエクステリア」を紹介。NHKは、Hybridcast Connect X技術を用い、放送と各種サービスが連携する新しいテレビ体験を紹介。

東芝映像ソリューション株式会社は、北米市場に向け2017年末頃を目途に発売予定の音声対話デバイス「TH-GW10」を公開し、大きな注目を集めていました。この他にも積水ハウス株式会社や大和ハウス工業株式会社による経産省「スマートホームに関するデータ活用環境整備推進事業」の取り組み紹介があり、スマートホーム特別企画展は、連日多くの来場者で賑わいをみせていました。



スマートホーム実現に向けたコンファレンスを開催

スマートホーム部会ではさらに、CEATEC期間中に「スマートホームで暮らしが変わる～ハウス／住設機器／家電／サービスのつながりにより描く新たな“住まい価値”

の創造～」をテーマにコンファレンスを実施しました。

コンファレンスは、スマートホームを構成する様々な業界の第一線で活躍する講師の方々から、以下をテーマに取り組み紹介があり、その後スマートホーム実現に向けたパネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションの冒頭には、経済産業省 前田泰宏 大臣官房審議官（商務情報政策局担当）より、最新の政策動向について説明や業界への強い期待が述べられた後、特に生活者の視点に立ったスマートホームの実現に向けて、関連する業界がどこまで踏み込み、連携を進めていくのかについて活発な議論が行われました。

- ① 今回の「スマートホーム」は何が新しいか
国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報系 教授 丹 康雄 氏
- ② ハウスメーカーが考える住まいと暮らしのスマート化
積水ハウス株式会社 執行役員 技術業務部長 兼 設計システム室長 雨宮 豊 氏
- ③ AIoTが実現するココロつながる社会
シャープ株式会社 IoT通信事業本部 IoTクラウド事業部 事業部長 白石 奈緒樹 氏
- ④ 住空間におけるIoTとデータ活用
株式会社LIXIL システム技術研究所 所長 三原 寛司 氏
- ⑤ 筑波大と楽天の試み
未来店舗デザインからスマートな体験を目指して 楽天株式会社 執行役員／楽天技術研究所 代表 森 正弥 氏
- ⑥ 「あんしんプラットフォーム」とサービスイノベーション
セコム株式会社 顧問 小松崎 常夫 氏

